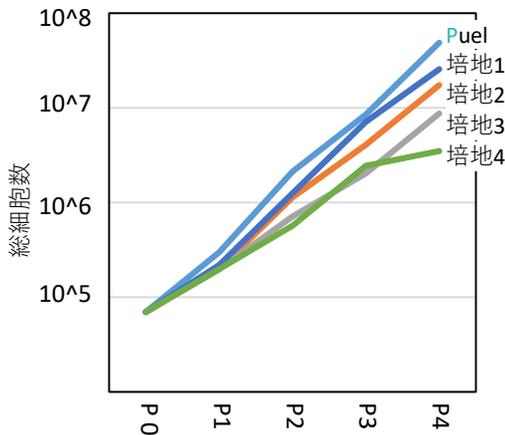




## Puelの特徴

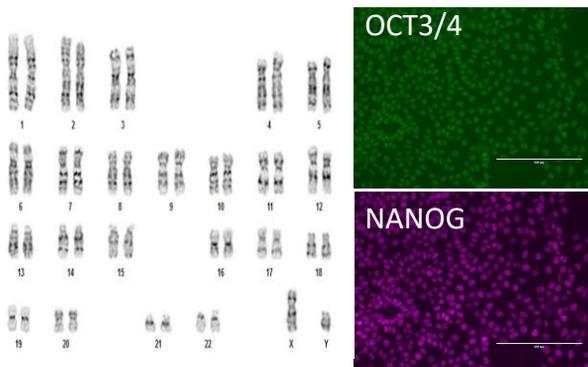
- GMP iPS細胞専門の製造者が開発
- 高い生存率と高い増殖能とゲノム安定性
- 2D フィーダーフリー、2Dフィーダー培養、3D 大量浮遊拡大培養可能
- 生物原料基準適合し、医療用iPS細胞の作製に使用可能 (DMF準備中)
- GMP 準拠品も販売準備中

### 特徴1: 高い生存率と増殖



フィーダーフリー培養でも高い増殖率、生存率を維持する。また、低密度播種( $2 \times 10^3$ /6well)も可能であり細胞の起眠や遺伝子編集後のクローニングなどに最適。

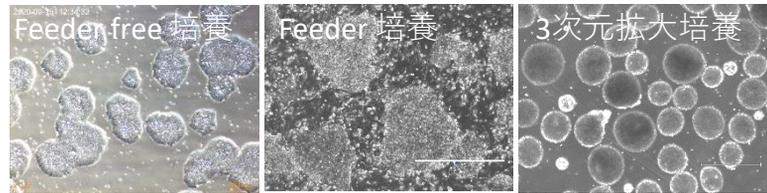
### 特徴2: 高いゲノム安定性と特徴の維持



50継代したあとも、核型を正常に維持できる。(6Line中すべて)。また、多能性マーカーも均一に発現しており、多能性を安定的に維持

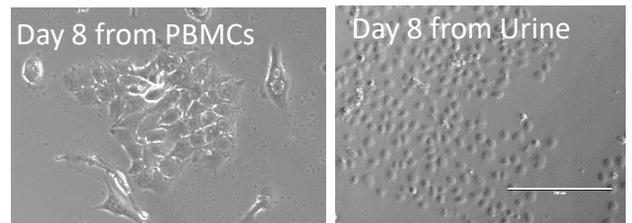
### 特徴3: 2D フィーダーフリー

### 2Dフィーダー培養、3D 浮遊培養可能



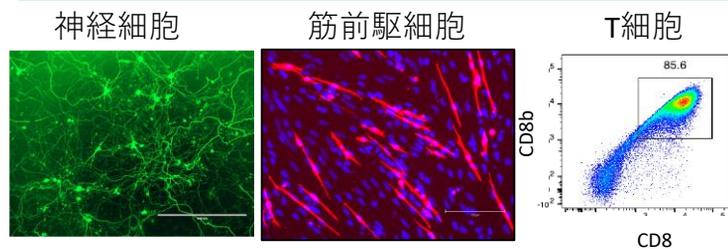
2Dフィーダーフリーでも、2Dフィーダーでも効率的に増殖。3次元浮遊培養でも効率よく増殖するため、大量拡大培養に最適。

### 特徴4: iPS細胞誘導にも最適



線維芽細胞、末梢血単核球、尿由来細胞からも効率よくiPS細胞誘導ができる。通常の拡大培養液ではiPS細胞誘導に適さないものがある。

### 特徴5: 高い分化能を維持



Puelで長期培養した細胞を、各細胞の分化誘導系で特異的に誘導すると、神経細胞、筋前駆細胞、心筋細胞、血液前駆細胞、NK細胞、T細胞、表皮細胞に分化可能。長期培養しても高い多能性を維持。